2023年 干支の話 卯

満月でもちつきをするのは献身的なうさぎ

子どものころに満月を見て、「ほら、うさぎがもちをついているよ」と大人から教えられた人は多いでしょう。文部省唱歌「うさぎ」でも、「うさぎうさぎ／なに見てはねる／十五夜お月さま／見てはねる」と歌われます。月の表面の模様は確かにそのように見えますが、うさぎにたとえるのは、日本を含む東アジアの国がほとんどだそうです。

月にいるうさぎの由来は、ブッダの前世の逸話を集めたインドの『ジャータカ物語』という文献と、それをベースにした『今昔物語集』に掲載されている、次のような逸話であるといわれています。

「猿やヤマイヌ（またはキツネ）、カワウソと暮らすうさぎの前に、施しを求める老人が現れた。ほかの動物と違い何も施すものがないうさぎは、自ら火に飛び込んでその身を捧げた。老人は帝釈天で、うさぎの慈悲深い行動をほかの生き物の手本にするため、月にうさぎの形を描いた」。（諸説あり）

よい行いをすれば報われる、ということを説いた話です。満月の夜には、献身的なうさぎに思いをはせて見上げてみませんか。

うさぎの主食はにんじん……ではない!?

うさぎの好物とされる、にんじん。しかし、にんじんはうさぎの主食ではないことをご存じでしたか？

野生のうさぎは、おもに草や若木、それらの葉や根などを食べています。ペットとして飼ううさぎには、乾いた牧草をたっぷりと、さらに「ペレット」と呼ばれる専用のフードを適量与えるのが基本です。このペレットの主原料も、イネ科やマメ科の牧草です。

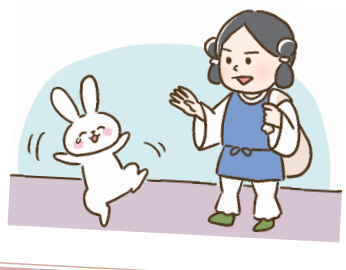
さらに、うさぎは胃腸の機能を正常に保つために繊維質をとり続ける必要があり、一日中牧草を食べています。「うさぎはさみしいと死んでしまう」という通説は、この「常に食べていないと体調を崩してしまう」ことから広まったのではないかといわれています。

にんじんや葉物野菜もうさぎの好物ですが、おやつ程度に与えるのがよいとされています。これは、野菜を食べすぎて主食を食べなくなると、体調を崩しやすくなってしまうためです。

おやつを食べすぎると健康によくないのは、うさぎも人も同じ。体に必要なものを、バランスよくとるようにしたいですね。

因幡の白うさぎの縁結び

島根県の出雲大社には、うさぎの石像がたくさんあります。これは、出雲大社の祭神・大国主命にまつわる、次のような「因幡の白うさぎ」の神話にちなんだものです。

大国主命とその兄弟神たちが、八上比売という姫と結婚するため、因幡に向かっていたときのこと。白うさぎが、隠岐の島から因幡の国へと海を渡るため、ワニザメをだまして背中の上を通ろうとしていました。しかし、ワニザメにばれて体中の毛をむしりとられ、痛がって泣いているところへ、いじわるな兄弟神たちが通りかかったのです。「海で洗って風にあたって乾かすように」と言われてそのようにすると、痛みがさらにひどくなってしまいました。次に大国主命が通りかかり、「真水で洗ってガマの花粉をつけるとよい」と言うので従うと、すっかりよくなりました。喜んだ白うさぎは大国主命と八上比売との仲を取りもち、縁結びの象徴となったそうです。

鳥取県には白うさぎを祀った白兎神社があり、縁結びだけでなく、やけどや皮膚病などにもご利益があるとされています。近くには、この神話の舞台とされる白兎海岸の美しい海と白砂が広がっています。出雲大社を訪れた際には足を延ばしてみてください。